



校友会会員の皆様には、平素は本会の運営につきまして、暖かいご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

月日が経つのも早いもので、本会が設立され三十年が過ぎ、校友会会員も三万人に達しようとしています。

昨年一年間を振り返って見ますと、一月には本会副会長の岡田惇氏の突然の他界という悲しい出来事がありました。(心よりご冥福をお祈りします。)

また反面、追手門学院の創立一一〇周年と輝かしい年でもありました。創設者高島先生の生誕の地、鹿児島において校友会九州支部総会が開催され、私も高島先生の碑にお参りし、改めて高島先生の偉大さに心を打たれました。

五月には母校に入学した留学生新入歓迎会のバースツアーを開催し、京都にて留学生と一緒に一日を過ごしました。

十一月には恒例のホームカミングデーと校友会二十周年記念事業の一環として、中国上海師範大学の皆様をお招きして、中国伝統古典民族楽器演奏会を茨木市市民総合センター、母校学生活動大ホール、追手門学院小学校一一〇記念大ホールにおいて開催しました。

さて、二〇〇〇年を迎えて、本会のさらなる発展のために校友会組織の強靭な体制づくりと母校へのさらなる協力体制づくりを主体に今年の校友会活動を考えておりますので、今後とも、校友会会員の皆様にはご支援とご協力をお願いいたします。

会長 平野 昌雄

改正案について、ご異議やご質問等がありましたら本会報到着後、一週間以内に校友会事務局まで書面でご連絡ください。

ご連絡の無い場合は、ご承認いただけるものといたします。

改正案について、ご連絡ください。

改正案の趣旨は、校友会がその目的達成のために行う諸活動は、総会の承認を基本としてきましたが、会員が3万人に達しようとする現状の中で毎年1回の総会の開催が非常に困難となっていました。そのため、「重要な問題以外は理事会の中で審議し、その結果について会報等で会員に報告する形式とすること。」

また、「校友会の諸活動を円滑に行うために、委員会を設置し、委員についても状況に応じて補充することができるものとして、諸活動のより迅速化を計ること。」としています。

改正案について、ご異議やご質問等

がありましても、この快挙に対して、大いに喜んでいたしました。

改正案について、ご連絡ください。

平成十二年三月二十六日開催の理事会において、表題の改正案が提出されました。

校友会会則及び評議員選挙細則の改正案について

(改正案)	(現 行)
第4章 役員及び役員会 第11条 役員会は必要に応じ次の通りこれを開き、本会の要務を協議する。 1. 常任理事会 2. 理事会 3. 評議員会 4. 合同役員会 5. 委員会	第4章 役員及び委員会 第11条 役員会は必要に応じ次の通りこれを開き、本会の要務を協議する。 1. 常任理事会 2. 理事会 3. 評議員会 4. 合同役員会
第12条 本会は、必要に応じ名誉会長・顧問・または相談役を理事会の推薦により置くことができる。	第12条 本会は、必要に応じ名誉会長・顧問・または参与を理事会の推薦により総会の承認を得て置くことができる。
第5章 事業 第14条 本会は、第4条の目的を達成するために次の事業を行なう。 1. 総会は、本会の理事会が必要と認めたときに開くことができる。	第5章 事業 第14条 本会は、第4条の目的を達成するために次の事業を行なう。 1. 総会は、毎年1回これを開く。ただし必要あるときは臨時総会を開くことができる。
第6章 会計 第16条 本会の収支決算は、翌会計年度の4月末までに会計監査を行ない、理事会の承認を得て会員に報告する。	第6章 会計 第16条 本会の収支決算は、翌会計年度の4月末までに会計監査を行ない、理事会の承認を得て総会に報告する。
第8章 附則 第22条 本会は、必要に応じて地域に支部を置くことができる。支部の設置については第13条による。	第8章 附則 第22条 本会は、必要に応じて地方または職域に支部を置くことができる。支部の設置については第13条による。
第24条 この会則は、必要が生じたとき、理事会出席者の3分の2以上の承認を得て改正変更できる。	第24条 この会則は、必要が生じたとき、総会出席者の過半数の承認を得て改正変更できる。
第25条 この改正会則は平成12年(2000年)4月1日より発効する。	
[選挙管理委員会] 第6条 選挙管理委員長は、正会員中より常任理事会が委嘱する。選挙管理委員長には、被選挙権はない。	[選挙管理委員会] 第6条 選挙管理委員長は、常任理事会が委嘱する。選挙管理委員長には、被選挙権はない。

1 新食堂棟竣工間近

昨年の十月二十五日に地鎮祭が執り行われ着工された新食堂棟は、この八月二十五日に工事を完了し、九月十三日の竣工式に向けて、今、急ピッチで作業が進んでいます。

(表紙・写真)

新食堂棟は、第一食堂棟の建て替えとして建設が計画され、その規模は、地下1階、地上3階建てとなり、総床面積は、これまでの約4倍と広がります。

この結果、単に座席数を増やしただけではなく、学内のコミュニケーションの場としての機能も備え、ゆとりのある配置となります。

校友会の皆様をお迎えする今年の「ホームカミングデー」は、この新食堂棟で行う予定ですので、ぜひお越しください。

2 シドニーオリンピック出場!
巽 樹理さん後援会結成!

本学国際経済学科3年生の巽 樹理(たつみじゅり)さんが、シンクロナ

後援会活動として、寄付金活動を行うとともに茨木市長表敬訪問、現地応援団派遣および帰国後の報告会等、様々な企画を実施する予定です。

巽さんの活躍にぜひ応援のご協力をお願いいたします。

「寄付金に関するお問合せ、ご連絡先

TEL 0726(42)9165

追手門学院大学 総合企画室

3 大学事務組織改革で21世紀にむけて新たなスタート!

現在の大学を取り巻く環境は、社会

体制として学長室を新設し、総合企画室および学長事務室を設ける、②事務局の強化体制として庶務課を総務課と人事課に分ける、③会計課を財務課に名称変更などを行いました。また、校友会の大学窓口として、新たに学長事務室に担当者が配置されました。

具体的には、①大学執行部への支援

（祝）の正午、母校でホームカミングデーが開催されます。懐かしい友や恩師とのひとときを…

会員の皆さん、ご家族やお友達と一緒にぜひお越しください。

各支部会	平成十一年度	平成十一年度	平成十一年度	平成十一年度
五月九日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日
東京支部総会	常任理事会	常任理事会	常任理事会	常任理事会
三月二十六日	三月二十六日	三月二十六日	三月二十六日	三月二十六日
岡山県支部会発会式	理事会	理事会	理事会	理事会



ホームカミングデーのお知らせ

今年も大学祭期間中の十一月三日

（祝）

六月二十五日

常任理事会

五月九日

五月九日

常任理事会

理事会

会議録

イズドスイミングの種目でシドニー五輪出場の代表メンバー(九名)の一人に選ばれました。この快挙に対して、大学をあげて巽さんを応援することになりました。後援会を結成いたしました。

事務組織においても、これらの大学の役割を担う人材の育成、組織の改革の必要性が重要課題となり、この六月一日付けで改革のスタートを切りました。

具体的には、①大学執行部への支援体制として学長室を新設し、総合企画室および学長事務室を設ける、②事務局の強化体制として庶務課を総務課と人事課に分ける、③会計課を財務課に名称変更などを行いました。また、校友会の大学窓口として、新たに学長事務室に担当者が配置されました。

高まっています。

会員の活躍にぜひ応援のご協力を möchtenと思います。

巽さんの活躍にぜひ応援のご協力を möchtenと思います。

經濟の高度化、多様化、複雑化のみならず、国際化・情報化を背景とした社会システムの変動により、大きく変化しています。こうした社会の変化に対応しうる大学の果たすべき役割は益々高まっています。

事務組織においても、これらの大学の役割を担う人材の育成、組織の改革の必要性が重要課題となり、この六月一日付けで改革のスタートを切りました。

具体的には、①大学執行部への支援

体制として学長室を新設し、総合企画室および学長事務室を設ける、②事務



平成12(2000)年9月15日

启明学院大学校友会会報

上海師範大學
中國傳統古典民族樂器
演奏會特集

尊敬する追手門学院大学
校友会の方々

演奏が大成功であつたことに、感謝の意を表す言葉を述べて頂く事になりました。

昨日夕方、蔣副學長をはじめ、私たち一行十五名は校友会の方々の貴重な友情を、心に抱いて、無事上海に帰りました。

校友会設立三〇周年の記念事業として、本会と交流のある中国・上海師範大学並びに附属上海実験学校の教員・学生・児童によつて特別編成された中国伝統古典民族楽器演奏団（団長・蔣副学長はじめ総勢十五名）を迎へ、去る一九九九年十月三十一日から十一月四日の間、茨木市クリエイトセンターや追手門学院大学学生会館大ホール、追手門学院大学附属小学校において、演奏会を開催しました。

私たち一行は校友会の方々の大変貴重な友情を抱いて、八日の夕方に無事上
海に帰りました。御地滯在中に大変お世話になりました。誠に有り難うございま
した。先月の末に関西空港に着いてから、校友会の皆様方は一列に並んで熱烈な歓
迎を賜り、滞在中に演奏団全員の食事から観光まで、表敬訪問から演奏すること
まで、すべて暖かいご配慮をして下さいまして私たちには本当に心から感謝してお
りますが、言葉でその感謝の気持ちをと

A circular portrait of a woman with short dark hair, smiling and holding a black microphone. She is wearing a light blue collared shirt under a dark jacket. The background is blurred.

い方々ですが、大変貴重な時間を私たちのためにいただき、誠にありがとうございました。

正式なお札状は後に蒋副学長からお送りいたしますが、とりあえず、全員無事に帰ったことをご報告いたします。

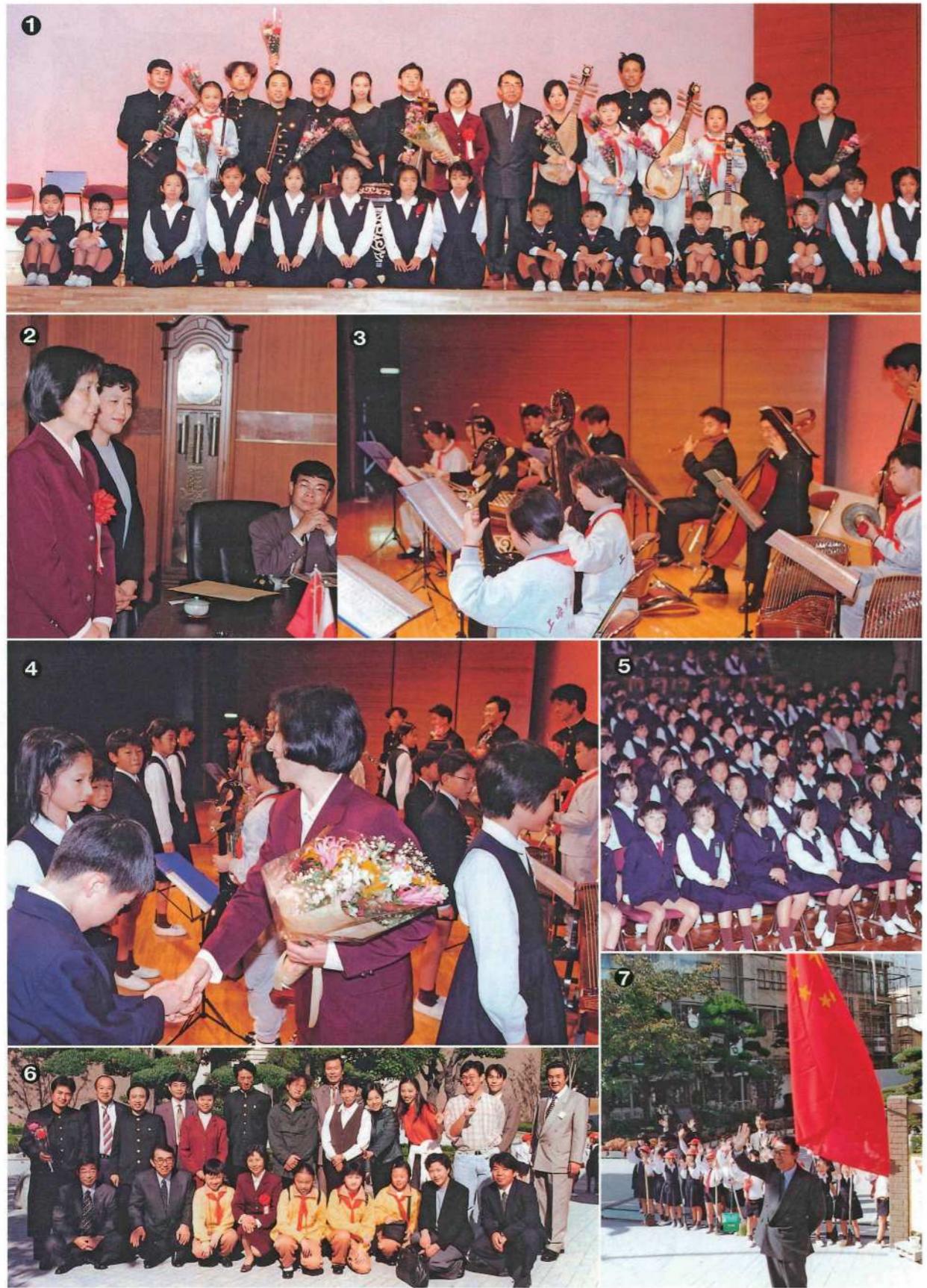
よくお世話になつた安藤さまにもよろしくお伝えいただきますよう。

校友会設立三〇周年記念事業として、本会と交流のある中国・上海師範大学並びに附屬上海実験学校の教員・学生・児童によつて特別編成された中国伝統古典

A circular portrait of a woman with dark hair, wearing a dark blazer over a white collared shirt, set against a light blue background.

日にお心のこもったおもてなしを賜り、
う一度厚くお札を申し上げます。
上海でお目にかかることがあります。
期待しております。

方々に本当にあたたかいお迎えと、細かいところまでお世話になりまして、演奏団全員とも感謝の気持ちでいっぱいです。言葉ではとてもこの気持ちを十分に伝えることができないと思います。



日本記事　日本の旅　沈敏文

旅立ち

十月三十一日朝、私は少年宮へ琴の練習をしに行きました。私は他の十四名の先生と友だちで日本へ演奏に行くことになったからです。

上海を旅立つとき、空が明るくなつたばかりで、まだ、雨が降っていました。私はとても興奮していて心は羽がついているように窓の外に飛んでいました。

私はいつの間にか虹桥空港に着いていました。通関の手続きをスムーズに終え飛行機に乗りました。両親と離れることになりましたが、先生や友だちが一緒に、逆にうきうきとした気分になつていました。

とうとう日本にやつてきました。異国に着きどういうわけか故郷をこいしく思っていました。日本の環境はとても美しいかったです。地面には少しのゴミもありません。空気がすがすがしく感じました。

通関の後、私たちは追手門学院大学のみなさんの大歓迎を受けました。「熱

烈歓迎！上海師範大学古典民族樂器演奏団」の横断幕を持って私たちを待っていました。そして、私たちに紅い花をつけました。待ち受けてくれた皆さんの中に、この日本訪問を実行させた佐藤良和おじいさんを見つけました。

いよいよ日本への訪問が始まりました。このたびの日本への旅は主な目的が公演でした。

初めて舞台に立ったとき少し緊張しました。時間が経つにつれ緊張が少しづつとけてゆきました。すべての公演は成功に終わりましたが、回を増す毎に良くなりました。私たちの演奏に観客はいつも熱烈な拍手で応えてくれました。

数回の演奏を通して自分自身の勇気が増してきました。今になって、張先生のある言葉を思い出しました。「舞台の上で何も怖いことはない。怖がつたらかえって音がずれてしましますよ。」まさにその通りです。

いよいよ帰国

八日間はあつという間にすぎました。日本は、私たちに深い印象を与えてくれました。日本からもうすぐ離れます。八日間とも行動してくれたお兄さん、お姉さんたちと別れなければならぬときは、私はとても悲しくなりました。

日本への今回の旅は私にとって一生忘れられない旅です。

ラゲがその透明なからだで、人々に自分の純潔を表しているようでした。

このたびの訪問日中、私たちは幸運にも何人かの政府要人と面会ができました。

た。

このたびの訪問日中、私たちは幸運にも何人かの政府要人と面会ができました。大阪と上海は姉妹都市です。十一月一日大阪府庁で大阪府知事とまた、大阪市役所で大阪市長とも面会しました。

初めて舞台に立ったとき少し緊張しました。時間が経つにつれ緊張が少しづつとけてゆきました。すべての公演は成

功

に

終

り

ま

し

た

た。

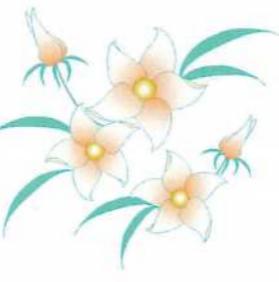
予算・決算			
平成9年度 消費収支計算書			
平成10年度 消費収支計算書			
平成11年度 消費収支計算書			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
(収入の部)			
会費	61,280,000	61,280,000	0
受取利息	3,500,000	3,330,778	169,222
大学周年事業寄付金	50,000	0	50,000
会員名簿関係	50,000	30,500	19,500
総会参加費	1,200,000	0	1,200,000
校友会基金取崩	43,000,000	23,000,000	20,000,000
収入の部合計	109,080,000	87,641,278	21,438,722
(支出の部)			
人件費	1,200,000	1,207,640	△7,640
会報印刷費	3,000,000	1,643,229	1,356,771
印刷費	2,500,000	2,691,542	△191,542
通信費	7,000,000	7,014,610	△14,610
交通費	60,000	0	60,000
消耗品費	30,000	10,223	19,777
会議費	100,000	161,799	△61,799
慶弔費	50,000	21,000	29,000
名簿完備費	3,000,000	960,690	2,039,310
総会費	2,300,000	0	2,300,000
雑費	50,000	5,000	45,000
公租公課	700,000	675,685	24,315
卒業記念品代	8,500,000	8,406,000	94,000
学友会活動援助費	1,000,000	0	1,000,000
大学祭援助費	200,000	296,705	△96,705
大学祭行事参加費	0	807,660	△807,660
支部設立準備費	100,000	0	100,000
支部援助費	500,000	200,000	300,000
国際交流費	2,000,000	0	2,000,000
記念文庫	50,000	0	50,000
予備費	100,000	0	100,000
財団設立基金繰入支出	43,000,000	43,000,000	0
支出の部合計	75,440,000	67,101,783	8,338,217
当年度収支差額	33,640,000	20,539,495	13,100,505
前年度繰越収支差額	△4,962,220	△4,962,220	0
翌年度繰越収支差額	28,677,780	15,577,275	13,100,505

何ら事故もなく、日程が終えられたのは何よりでした。

思い返してみると私の係わった時間の時々で、もつとあそこはこうすれば良かったのにと私自身のいたらぬ点が思いました。それぞれの時間に分担した仕事を行うのですが、何もかもが初めての事なので何をどうして良いのか戸惑うばかりでした。その中でも予定になかったのですが、個人的にビデオ録画を行つことで単独行動することも多く時間を費やし、少々他の仕事が疎かになったのではと反省しなければと思います。

外国人をゲストに迎え身近に相対してみて、言語の壁や私自身の心構えの無さ、また、人をもてなす事を少し考えが足らなかつたのだと思い知らされた気分です。

今回私は足らなかつた事すべてを今後の課題として少しずつでも良い方向に校友会の活動を進めて行きたいと思いま



す。 昨年一月の初め、校友会副会長であった岡田惇氏が急逝されました。 今年十一月に実現することが出来たのです。

彼の遺志であつた校友会会員名簿第三号の発行も実現することが出来ました。

演奏会のあの音を彼に聞いて欲しか

ったと準備委員会のメンバー会員が残念

に思っています。彼は在学中ゴルフ部に

属し、卒業後もゴルフ部OB会で活躍し

ていました。今年二月末にゴルフ部OB

会の有志で岡田惇氏の追悼する会が開催

されたと聞いております。

彼の面倒見の良い明るい性格やあの

絶妙の論法を今改めて懐かしく思い出

ております。

大勢の方々から多くの愛情をもらつた

幸せな男を偲んで思い出に残る一日を盛

会に終えることができました。

合掌



大橋
陽一

副会長

岡田 悩んで

ある上海師範大学校友会を訪問した時に、中国に古くから伝わる伝統楽器の素晴らしい音に感動し、日本で演奏会が出来ないものかと考えたのです。

これがきっかけで平成九年四月の理事会で校友会で開催する事が正式に決まり準備が始まりました。

国際交流委員会の下村委員長を中心

に中国古典楽器演奏会準備委員会が発足し、大変な苦労と時間を費やし、平成十一年十一月に実現することが出来たのです。

彼の遺志であつた校友会会員名簿第

三号の発行も実現することが出来まし

た。

演奏会のあの音を彼に聞いて欲しか

ったと準備委員会のメンバー会員が残念

に思っています。彼は在学中ゴルフ部に

属し、卒業後もゴルフ部OB会で活躍し

ていました。今年二月末にゴルフ部OB

会の有志で岡田惇氏の追悼する会が開催

されたと聞いております。

彼の面倒見の良い明るい性格やあの

絶妙の論法を今改めて懐かしく思い出

ております。

大勢の方々から多くの愛情をもらつた

幸せな男を偲んで思い出に残る一日を盛

会に終えることができました。

吉澤 邦祠

平成十二年二月二十六日（土）リーガロイヤルホテル、ゴールデンルームにて「岡田 悩と良子を偲ぶ会」を午後6時より開催しました。

早いもので奥様が亡くなられて二年、岡田が後を追うように他界して一年が過ぎました。

当日は、彼の交友関係の広さからいろいろなグループの中でも特に親しかつた友人に限り出席いただき総勢四十三名、追大時代のゴルフ部一期生の仲間、校友会、酒飲みのヤンチャなグループ、又、北新地のママ連中から、ガールフレンドの美女軍団にいたるまで、多彩な人達に出席いただきました。

会の始まりにまず、遺影に献花、長男泰治春君よりお札の挨拶、献杯に続いて（家族・酒・女・女・・・等）が続き、ジャズシンガーや北新地のママによる彼の好きだった思い出の曲を熱唱いただき、最後に長女真田子様より大切に育ててくれたパパへの思い出の曲を熱唱いただき、大勢の方々から多くの愛情をもらつた幸せな男を偲んで思い出に残る一日を盛り上げました。

吉澤邦祠

平成12年度 消費収支予算書

平成12年4月1日～平成13年3月31日

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	差異
(収入の部)			
会費	55,960,000	53,080,000	2,880,000
受取利息	2,000,000	3,500,000	△1,500,000
会員名簿関係	140,000	52,500	87,500
財団設立基金取崩	6,000,000	10,000,000	△4,000,000
収入の部合計	64,100,000	66,632,500	△2,532,500
(支出の部)			
人件費	1,100,000	1,300,000	△200,000
会報印刷費	2,000,000	2,000,000	0
印刷費	2,700,000	2,700,000	0
通信費	5,000,000	7,100,000	△2,100,000
交通費	50,000	50,000	0
消耗品費	100,000	30,000	70,000
会議費	100,000	150,000	△50,000
貸借料	214,200	214,200	0
慶弔費	50,000	50,000	0
名簿完備費	1,500,000	3,500,000	△2,000,000
総会費	2,000,000	0	2,000,000
雑費	20,000	50,000	△30,000
公租公課	500,000	700,000	△200,000
卒業記念品代	8,500,000	8,500,000	0
学友会活動援助費	2,500,000	2,000,000	500,000
大学祭援助費	200,000	200,000	0
大学祭行事参加費	1,200,000	500,000	700,000
支部設立準備費	100,000	100,000	0
支部援助費	200,000	500,000	△300,000
国際交流費	500,000	2,000,000	△1,500,000
予備費	100,000	100,000	0
財団設立基金繰入支出	6,000,000	10,000,000	△4,000,000
支出の部合計	34,634,200	41,744,200	△7,110,000
当年度収支差額	29,465,800	24,888,300	4,577,500
前年度繰越収支差額	56,208,113	15,577,275	40,630,838
翌年度繰越収支差額	85,673,913	40,465,575	45,208,338

平成9年度 貸借対照表

平成10年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
流動資産	68,540,447	
現金	768,958	
普通預金 一般	14,418,344	
普通預金 義援	73,228	
普通預金 名簿	246,531	
普通預金 30	1,434,609	
普通預金 遺児	1,183,717	
振替貯金	139,230	
定期預金	50,000,000	
未収入金	450	
立替金	275,380	
その他の資産	330,280,000	
校友会基金	20,000,000	
有価証券	20,000,000	
財団設立準備基金	310,280,000	
貸付信託	210,000,000	
定期預金	100,000,000	
その他の資産	330,280,000	
財団設立準備基金	330,280,000	
貸付信託	193,000,000	
定期預金	137,280,000	
資産の部合計	441,246,310	
負債の部		
流動負債		54,758,197
前受金		53,080,000
義援預り金		1,656,207
未払金		21,990
負債の部合計		54,758,197
基金引当の部		
基金引当金		330,280,000
財団設立準備基金		330,280,000
基金引当の部合計		330,280,000
消費収支差額の部		
次年度繰越消費収支差額		92,015,065
消費収支差額の部合計		92,015,065
総合計	480,050,828	480,050,828

平成10年度 貸借対照表

平成11年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
流動資産	110,966,310	
現金	697,043	
普通預金 一般	7,168,596	
普通預金 義援	1,257,951	
普通預金 名簿	267,736	
普通預金 30	1,435,754	
振替貯金	139,230	
定期預金	100,000,000	
その他の資産	330,280,000	
財団設立準備基金	330,280,000	
貸付信託	164,000,000	
定期預金	166,280,000	
資産の部合計	480,050,828	
負債の部		
流動負債		57,755,763
前受金		55,960,000
義援預り金		1,656,207
未払金		139,556
負債の部合計		57,755,763
基金引当の部		
基金引当金		330,280,000
財団設立準備基金		330,280,000
基金引当の部合計		330,280,000
消費収支差額の部		
次年度繰越消費収支差額		92,015,065
消費収支差額の部合計		92,015,065
総合計	480,050,828	480,050,828

平成11年度 貸借対照表

平成12年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
流動資産	149,770,828	
現金預金	149,770,828	
その他の資産	330,280,000	
財団設立準備基金	330,280,000	
貸付信託	164,000,000	
定期預金	166,280,000	
資産の部合計	480,050,828	
負債の部		
流動負債		57,755,763
前受金		55,960,000
義援預り金		1,656,207
未払金		139,556
負債の部合計		57,755,763
基金引当の部		
基金引当金		330,280,000
財団設立準備基金		330,280,000
基金引当の部合計		330,280,000
消費収支差額の部		
次年度繰越消費収支差額		92,015,065
消費収支差額の部合計		92,015,065
総合計	480,050,828	480,050,828

追手門学院大学校友会会則抜粋

第4章 役員および役員会

第8条 本会に次の役員を置く。

1. 会長
2. 副会長 若干名
3. 常任理事会議長
4. 常任理事 若干名
5. 理事 若干名
6. 評議員 若干名
7. 監事 若干名

第9条 役員の選出および任務は次の通りとする。

1. 会長は理事会で選出され、会を代表する。
2. 副会長は、会長が理事事中より委嘱し、会長を補佐し、会長が事故あるときはその代理をする。
3. 常任理事会議長は、常任理事事中より互選し、常任理事会・理事会を統括しその決定事項を発動し本会の会務一切の責任を持つ。
4. 常任理事は、理事事中より互選し理事会の決定事項を執行し、また本会の事務を時担処理する。
5. 理事は、評議員事中より互選し本会の会務を決定する。
6. 評議員は、正会員中各卒業年度・各学部より所定の選挙方法によって若干名を選出し会務の協議に当る。
7. 監事は正会員中より理事会が選出し、本会会計の監査を行う。

第10条 役員の任期は4年とし、再任を妨げない。

追手門学院大学校友会評議員選挙細則

本会評議員の選出について、本会会則の第21条に従って、ここに選挙細則を定める。

[選挙権者と被選挙権者の範囲]

第1条 本会の役員選出の基盤となる評議員選舉については、会員の推挙推薦によって、評議員候補者を選び、会員の同意を得て決定するものとする。

第2条 本会会員中、正会員のみが本会評議員の推挙推薦権を持つ。

第3条 本会会員中、正会員のみが本会評議員候補者として、本会会員の推挙推薦権者より、推挙推薦を受けることができる。

第4条 前条の本会評議員候補者の内、次に該当する会員は、本会正会員より推挙推薦があったとしても本会評議員候補者としての資格を失う。

- ① 本会終身会費を納めていない会員
- ② 選挙管理委員会が不適当と判断し、それを理事会が了承した会員

[選挙管理委員会]

第5条 本会評議員選出に際しては、選挙管理委員会を設置する。

第6条 選挙管理委員長は、正会員中より常任理事会が委嘱する。選挙管理委員長には、被選挙権はない。

第7条 選挙管理委員会委員は、選挙管理委員長が委嘱する。

第8条 選挙管理委員会は、本会正会員からの評議員候補者の推挙推薦に関しては、公正かつ厳正に事務を行う。

第9条 選挙管理委員会は、選挙の中身を公開する。但し、会員の人権に関わる内容については公開しない。

[選挙方法]

第10条 本会正会員は、事前に送付した「評議員候補者推薦書」の所定の項目に記入の上、捺印し、所定の封筒に入れ、所定の期日までに選挙管理委員会宛に郵送すること。郵送以外の方法による推挙推薦は認めない。

第11条 選挙管理委員会は、期日を定めて、次の事を行うこと。

- ① 本会正会員から所定の用紙を用い、郵送されてきた「評議員推挙推薦書」に記載されている事項を検証して、評議員候補者一覧表を作成する。
- ② 本細則第4条による評議員候補者に、本会評議員の資格を受けるかどうかについての問い合わせを行う。受諾を拒否されたときは、評議員候補者一覧表から削除する。
- ③ 評議員候補者一覧表を、速やかに本会正会員に公示し、意義申立てを求めるところとする。
- ④ 前項3の結果を、速やかに本会理事会に報告することとする。

第12条 前条の取り扱いを経て修了した段階で、選挙管理委員会は評議員候補者に対し、「評議員就任承諾書」を送り、その回答を本会会員に告知するものとする。

付則

- 1 この細則は平成8年(1996年)6月30日の本会理事会で決定し、同年9月1日より施行する。
- 2 この細則の変更は、本会理事会の三分の二以上の同意を得なければならない。

追手門学院大学校友会
選挙管理委員会委員長
吉澤 邦祠

すが、封書にて、十月三十一日までに本会宛郵送ください。尚、役員改選に関する校友会会則の抜粋を別項に載せますのでご参考にしてください。

◎ 新役員選出の手順は

平成十三年三月三十一日をもつて現在校友会活動のお世話をしています現役員の任期が満了し、新たな役員を選出することになります。

そこで、本会会則の第九条・第六項に従い、平成十三年四月より四年間の役員(評議員)候補のご推薦をお願い致します。

校友会のより強固な活動が望まれている中、どうか、より多くの会員が、役員としての適任者を推薦されますよう会員の皆様のご協力をお願い致します。

役員の選出方法につきましては、下段に記載している選出手順をお読みになって、別途の推薦用紙を必ずご使用の上、所定の事項を記入して、誠に恐れ入ります。

① 大学校友会正会員(大学卒業者及び大学院修了者の中で終身会費を納入した会員)の中から、各学部・各卒業(修了)年度より又、各クラス・ゼミの幹事や世話役の方でぜひともこの人をという会員をご推薦ください。

候補者には、学友会及びその傘下の部・クラブ・同好会などの会員(OB)の中からご推薦されても差支えありません。ただし、候補者は他薦とし自薦は認めておりません。

② 推薦を受けた会員の方々の氏名・

③ 次いで、新評議員会を開き、会則に従い、新理事を選出します。

④ 新理事会を開き、新たに常任理事に会則に従い、副会長・常任理事会議長・監事を委嘱及び選出します。

⑤ 会則に従い、副会長・常任理事会議長・監事を委嘱及び選出します。

⑥ 以上、新役員が決定したら、次号の本会報に掲載して、会員の皆様にお知らせ致します。

◎ 役員(評議員)候補者のご推薦は、必ず別途の推薦用紙をご使用の上、会員の反対がある場合は、推薦を取り消すことがあります。(この方法は前回までの役員選出方法と同じです)否を問うことにしています。

会員の反対がある場合は、推薦を取り消すことがあります。(この方法は前回までの役員選出方法と同じです)否を問うことにしています。

会員の反対がある場合は、推薦を取り消すことがあります。(この方法は前回までの役員選出方法と同じです)否を問うことにしています。

本会まで郵送ください。

◎ 必ず別途の推薦用紙をご使用の上、会員の反対がある場合は、推薦を取り消すことがあります。(この方法は前回までの役員選出方法と同じです)否を問うことにしています。

本会まで郵送ください。

◎ 役員(評議員)候補者のご推薦は、必ず別途の推薦用紙をご使用の上、会員の反対がある場合は、推薦を取り消すことがあります。(この方法は前回までの役員選出方法と同じです)否を問うことにしています。

本会まで郵送ください。

◎ 役員(評議員)候補者のご推薦は、必ず別途の推薦用紙をご使用の上、会員の反対がある場合は、推薦を取り消すことがあります。(この方法は前回までの役員選出方法と同じです)否を問うことにしています。

本会まで郵送ください。

◎ 役員(評議員)候補者のご推薦は、必ず別途の推薦用紙をご使用の上、会員の反対がある場合は、推薦を取り消すことがあります。(この方法は前回までの役員選出方法と同じです)否を問うことにしています。

本会まで郵送ください。

十月三十一日までに

**平成十二年(2000年)
十月三十一日必着**

新食堂に世界時計を寄贈

文部だより

九州支部

会員からのメッセージ

この度竣工を迎える新食堂に、校友会は世界への発信を期待して世界時計を寄贈しました。

世界時計はウエーブ・トゥ・ザ・ワールドと本会理事会で、名付けました。

平成十二年三月十九日に岡山県駅前、国際観光旅館丸一で年度総会と岡山県分

会発会式が行われました。

大学からは戸塚学長、校友会からは

平野会長、佐藤顧問が出席してください

ました。

大学の発展の様子を聞き母校のこと

がよく解りました。

会は十名程度の参加でしたが様々な

話し合いがあり、楽しいひとときを過ご

すことができました。

岡山分会の役員については、会長に

筒井弘祐氏（経・営昭五十年卒）、事務

局に山下浩氏（経・営昭五十年卒）、事務

担当に則次春賢氏（文・心昭五十一年

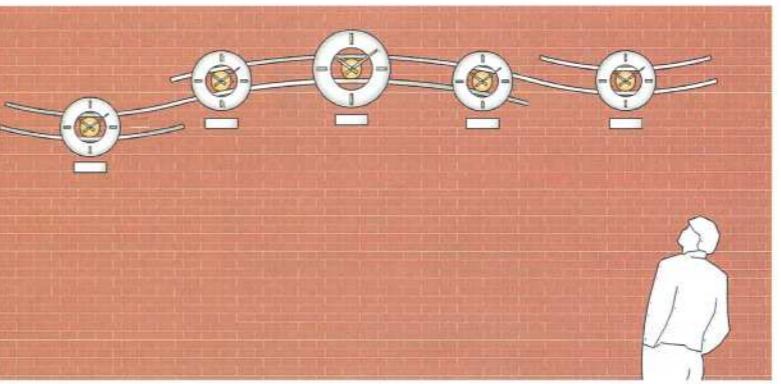
卒）が決まりました。

本年中には何かの集まりをしたいと

いうことで検討中ですので、岡山県の会

員の方はよろしくお願ひいたします。

中四国支部 中川 賢幸



(完成予想図)

寒の戻りでしょうか、ここ数日寒い日が続いておりますが、日ざしは春を感じる今日この頃です。

先日の校友会では学長様、小坂井様、下村様、遠路おこしいただきありがとうございました。短い時間ではありましたが大変楽しく過ごすことができ、感謝しております。

今後共いろいろアドバイスよろしくお願い致します。

何事も積極的にチャレンジすることが大切だと思います。

観光局では、グアムの魅力をより多くの方に知つていただくためのあらゆる活動をしています。大きくなはないけれど毎日がチャレンジでやりがいがある仕事です。

グアム政府観光局・大阪事務所勤務
マーケティング・オフィサー 河合 深雪

九州支部 田中 美津子



編集後記

本会誌の編集を任されてはや半年が過ぎようとしています。大変なものだと良くわかりました。隣の会員からのメッセージにあるように「何事も積極的にチャレンジすることが大切」そんな気持ちで今後もがんばりたいと思います。

会員の皆様の寄稿をお待ちしています。

（野出 靖宏）